

まちキャン通信

つ う し ん

じゅん び ごう

準備号2

発行日：平成22年12月1日

まちキャン通信編集部：長岡市生涯学習文化課 〒940-0072 新潟県長岡市柳原町2-1
TEL:0258-32-5110 FAX:0258-32-0587 E-mail:syougai@city.nagaoka.lg.jp

●平成23年9月、「まちなかキャンパス長岡」がオープンします。

長岡駅前大手通に、長岡最大の“学びと交流の拠点”として開校します。長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡工業高等専門学校が、それぞれの専門分野を活かした市民向け講座を行うほか、市民企画講座、企業が行う講座など、多彩な講座を開催します。



まちキャン検討委員会の皆さん。
知恵をしづばっています！

●まちなかキャンパス長岡では、学びのチャンスがたくさん！

気軽に講座を楽しみたい、じっくり学びたい…学びのスタイルは人それぞれ。まちなかキャンパス長岡では、いろいろなスタイルの講座の中から、自分に合った講座を自由に選べます。

◆まちなかカフェ／お茶を飲みながら、気軽に受講できる単発講座です。“おいしいコーヒーのいれ方” “天文楽(てんもんがく)” “キャンプ入門”(予定)など、楽しい講座を年間約50回行います。

◆まちなか大学／中央公民館の“ながおか市民大学”がリニューアル。4～5回の連続講座を、年間約10講座、開講します。長岡学講座、産業デザイン講座のほか、子ども向け“キッズサイエンス”も開講予定です。

◆まちなか大学院／まちなか大学よりさらに深く学びたい人のための課程です。専門家の指導のもと、年間10回程度の授業の中で、調査や研究、ディスカッションなどを行い、実践的に学びます。



「ながおか市民大学」は“まちなか大学”として生まれ変わります。

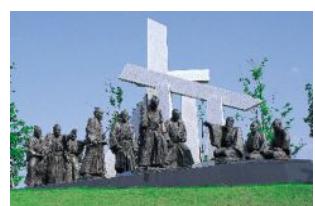


まちなかキャンパス長岡には、
子ども向け講座もあります！

●ひとつくり・ものづくり・まちづくり・・・？

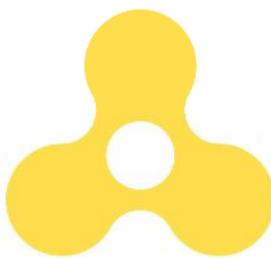
まちなかキャンパス長岡では、「米百俵」の精神を受け継ぎ、“人材育成”に力を注ぎます。まちなかキャンパス長岡の講座はすべて“ひとつくり” “ものづくり” “まちづくり”を目的にして企画されたものです。

とはいっても、決して大げさなものではありません。一人ひとりが、まちなかキャンパス長岡で学んだことを、地域や家庭で、思い思いの形で活かせるような講座を目指します。



まちなかキャンパス長岡は、
米百俵の精神からつくられました。

●まちなかキャンパス長岡のロゴマークが決定しました。



まちなかキャンパス長岡
machinaka campus nagaoka

全国から寄せられた 214点の応募作品の中から、まちなかキャンパス長岡ロゴ審査委員会で選ばれたのは、新潟市在住の関川卓也さんの作品です。

黄色いマークはなんと“米俵”。【学び】【交流】【伝統】の3つの要素を“米百俵の精神”から米俵の重なりに見立てて表現したとか。そして、まちなかでさまざまな人やモノ・情報が出会い交わり、未来につながる「新しいサイクル」が生まれていく様子を表したものもあるそうです。

まさに、まちなかキャンパス長岡の目指すものにピッタリで、かつ長岡らしさを秘めているところが評価ポイントとなりました。



審査会場。応募作品が所狭しと並んでいます。



審査会の様子。
力作を前に、悩みます・・・。



作者の関川さん。素敵なロゴマークをありがとうございました。

●まちなかキャンパス長岡体験講座を行いました。

10月23日(土),24日(日)長岡造形大学で、まちキャン体験講座を行いました。長岡では珍しい?!カフェ形式の講座に、会場は満席に!天気記号やプロダクトデザインの楽しい講義に聞き入りました。コーヒーのいい香りに誘われ、足をとめて聞きに入る方も目立ち、これぞ カフェ講座の醍醐味。まちなかキャンパス長岡では、このようなカフェ講座を年間約50回開催します。どうぞお楽しみに!

<体験講座参加者の声 >

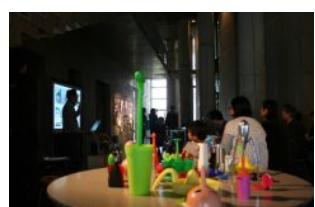
薰り高いコーヒーをいただきながら、その道の専門家から講義を受ける。このようなスタイルの講座は初めてでした。こちらの疑問のつぶやきさえ聞こえてしまうような講師との距離感、双方向の学びの楽しさを与えてくれました。

(10/23 参加・Kさん・女性)

コーヒーを飲みながら、ゆったりとした気分で講義を聞くことができました。また、実際に様々にデザインされた生活小物等に触れ、それは実用新案や特許等にも結び付くものであることを感じ、デザインの世界の楽しさを知ることができました。(10/24 参加・Oさん・男性)



10/23 開催・デザインとして考える天気記号の世界



10/24 開催・見て触れて感じるプロダクトデザインの世界